



## 歯科医・彌勒寺寛之の 後悔しない 歯科治療の受け方

## 第28回 「むし歯を削らず、溶かす薬」

「歯医者あの“キーン”という音が大嫌い！だから行きたくない！という方、お待たせしました。麻酔不要、ドリルも不要（※1）、ただ塗るだけでみるみる虫歯を溶かす薬がついに登場。怪しい薬？ いいえ、厚生労働省のお墨付き（※2）。保険は効きませんが、世界47ヶ国で愛用中。言葉より世界に通じる薬です。」

※1 虫歯の大きさによっては適応できない場合があります。

※2 2007年11月認可済

### 解説

カリソルブ (Carisolv) はスウェーデンで開発されたむし歯を溶かす薬です。

通常の治療法では、ドリルでむし歯を削り取るため、音や振動が不快なものですが、カリソルブはむし歯を削らずに、薬をむし歯に塗るだけで除去できるというもので、治療に伴う痛みも軽減できます。

カリソルブは、ヨーロッパの大学や研究施設において1987年から10年間研究され、1998年にヨーロッパなどの歯科医院で使用されるようになりました。これまでに世界47カ国で使用されています。

日本では1999年に薬事申請され、2007年に厚生労働省に認可されました。

カリソルブが特におすすめの方は小さなお子様、高齢の方、そして歯科治療が苦手な方、歯を削られるのが苦手な方、痛み弱い方、さらに全身の病気、アレルギーなどで麻酔の使用ができない方です。

適応となるむし歯は歯の神経まで達していない、比較的小さいC1、C2といわれるむし歯が適応となります。

カリソルブのメリットはほとんどのケースにおいて、むし歯を除去するのにドリルや注射を使用しないことです（削らないむし歯治療）。従って治療に伴う痛みも軽減できます。

そして、むし歯だけを薬で除去しますので、歯の削る量を最小限に抑えることができます。

カリソルブのデメリットは歯の神経まで達している比較的大きなむし歯（C3、C4）などには適応にならないこともあります。

また新しい治療法のため、保険適応外の治療法となっています。

むし歯を削らずに治す方法は他にもレーザー治療や抗菌薬を使う方法などがありますが、カリソルブは短時間（30秒で溶けます）で、保険外治療ですが比較的安価で治療できますので、むし歯の治療が苦手な方、痛み弱い方、ドリル音が嫌な方にとっては、利点の大きい治療方法といえます。



～著者プロフィール～

土沢デンタルクリニック院長 彌勒寺 寛之（みろくじ ひろゆき）1979年東京生まれ  
住 所 宇都宮市本丸町11-12 T E L 028-634-5141 (URL) <http://tda86.com>

所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会

日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。  
当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

（この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。）

